ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業

「ヒヤリ・ハット事例情報」報告入力項目（～2025年3月）

※【７.】は「医療事故情報」の報告項目のため、欠番

報告項目(（　）内は入力方法)
１．発生年（テキスト入力） 発生年（数値：　　年）
２．発生月（選択肢入力） □１月　□２月　□３月　□４月　□５月　□６月 □７月　□８月　□９月　□１０月　□１１月　□１２月
３．発生曜日（選択肢入力） □月曜日　□火曜日　□水曜日　□木曜日　□金曜日　□土曜日　□日曜日
４．発生時間帯（選択肢入力） □0：00～1：59　□2：00～3：59　□4：00～5：59　□6：00～7：59 □8：00～9：59　□10：00～11：59　□12：00～13：59　□14：00～15：59 □16：00～17：59　□18：00～19：59　□20：00～21：59　□22：00～23：59 □不明（　　）
５．医療の実施の有無（選択肢入力） □実施あり　⇒選択した場合は【６．事例の治療の程度】へ □実施なし　⇒選択した場合は【８．影響度】へ
【５．実施あり】を選択した場合 **６．事例の治療の程度（選択肢入力）** □軽微な治療　□なし　□不明
【５．実施なし】を選択した場合 **８．影響度（選択肢入力）** 当該事例の内容が仮に実施された場合、 □死亡もしくは重篤な状況に至ったと考えられる □濃厚な処置・治療が必要であると考えられる □軽微な処置・治療が必要もしくは処置・治療が不要と考えられる

※【１１.】【１２.】は「医療事故情報」の報告項目のため、欠番

報告項目(( )内は入力方法)
９．発生場所（選択肢入力） **【複数回答可】** □外来診察室　□外来処置室　□外来待合室　□救急外来 □救命救急センター　□病室　□病棟処置室　□手術室 □ＩＣＵ　□ＣＣＵ　□ＮＩＣＵ　□検査室 □カテーテル検査室　□放射線治療室　□放射線検査室　□核医学検査室 □透析室　□分娩室　□機能訓練室　□トイレ □廊下　□浴室　□階段　□薬局（調剤所） □不明　□その他（　）
１０．概要（選択肢入力） □薬剤　□輸血　□治療・処置　□医療機器等 □ドレーン・チューブ　□検査　□療養上の世話　□その他（　）
１３．患者の数（選択肢入力） □１人　□複数（　） **患者の年齢（テキスト入力）** （　）歳（　）ヶ月 **患者の性別（選択肢入力）** □男　□女
１４．患者区分（選択肢入力） □入院　□外来
１５．疾患名（テキスト入力） 事故に直接関連する疾患名　（　） 関連する疾患名１　（　） 関連する疾患名２　（　） 関連する疾患名３　（　）

報告項目(( )内は入力方法)

１６．直前の患者の状態（選択肢入力）

【複数回答可】

□意識障害　□視覚障害　□聴覚障害　□構音障害　□精神障害
□認知症・健忘　□上肢障害　□下肢障害　□歩行障害　□床上安静
□睡眠中　□薬剤の影響下　□麻酔中・麻酔前後
□その他特記する心身状態あり（　　）

１７．当事者（選択肢入力）

□１人　□２人　□３人　□４人　□５人　□６人
□７人　□８人　□９人　□１０人　□１１人以上

当事者職種（選択肢入力）

□医師　□歯科医師　□看護師　□准看護師
□薬剤師　□臨床工学技士　□助産師　□看護助手
□診療放射線技師　□臨床検査技師　□管理栄養士　□栄養士
□調理師・調理従事者　□理学療法士（PT）　□作業療法士（OT）
□言語聴覚士（ST）　□衛生検査技師　□歯科衛生士　□歯科技工士
□その他（　　）

当事者職種経験（テキスト入力）

（　　）年

勤続年数（テキスト入力）

（　　）年

１８．発見者（選択肢入力）

□当事者本人　□同職種者　□他職種者　□患者本人
□家族・付き添い　□他患者　□その他（　　）

１９．当事者以外の関連職種（選択肢入力）

【複数選択可】

□医師　□歯科医師　□看護師　□准看護師
□薬剤師　□臨床工学技士　□助産師　□看護助手
□診療放射線技師　□臨床検査技師　□管理栄養士　□栄養士
□調理師・調理従事者　□理学療法士（PT）　□作業療法士（OT）
□言語聴覚士（ST）　□衛生検査技師　□歯科衛生士　□歯科技工士
□その他（　　）

報告項目(( )内は入力方法)
２０．種類　　（【１０．概要】の選択に該当する項目に移る）
２１．発生場面　　（【１０．概要】の選択に該当する項目に移る）
２２．事例の内容　（【１０．概要】の選択に該当する項目に移る）
２３．関連医薬品、医療機器等、医療材料・諸物品等 （【１０．概要】の選択に該当する項目に移る）

【１０．概要で「薬剤」を選択した場合の項目】

報告項目（（　）内は入力方法）
２０．薬剤・製剤の種類（選択肢入力）
□血液製剤　□麻薬　□抗腫瘍剤　□循環器用薬　□抗糖尿病薬 □抗不安剤　□睡眠導入剤　□抗凝固剤　□その他（　　）

２１．発生場面（選択肢入力）
処方
□手書きによる処方箋の作成　□オーダリングによる処方箋の作成 □口頭による処方指示　□手書きによる処方の変更 □オーダリングによる処方の変更　□口頭による処方の変更 □その他の処方に関する場面（　　）
調剤
□内服薬調剤　□注射薬調剤　□血液製剤調剤　□外用薬調剤 □その他の調剤に関する場面（　　）
製剤管理
□内服薬製剤管理　□注射薬製剤管理　□血液製剤管理　□外用薬製剤管理 □その他の製剤管理に関する場面（　　）
与薬準備
□与薬準備
与薬
□皮下・筋肉注射　□静脈注射　□動脈注射　□末梢静脈点滴　□中心静脈注射 □内服　□外用　□坐剤　□吸入　□点鼻・点耳・点眼 □その他与薬に関する場面（　　）

２２．事例の内容（選択肢入力）
処方
□処方忘れ　□処方遅延　□処方量間違い　□重複処方 □禁忌薬剤の処方　□対象患者処方間違い　□処方薬剤間違い　□処方単位間違い □投与方法処方間違い　□その他の処方に関する内容（　　）
調剤
□調剤忘れ　□処方箋・注射箋鑑査間違い　□秤量間違い調剤 □数量間違い　□分包間違い　□規格間違い調剤 □単位間違い調剤　□薬剤取り違え調剤　□説明文書取り違え □交付患者間違い　□薬剤・製剤の取り違え交付　□期限切れ製剤の交付

□その他の調剤に関する内容（　　）
製剤管理
□薬剤・ボトルの記載間違い　□異物混入　□細菌汚染　□期限切れ製剤 □その他の製剤管理に関する内容（　　）
与薬準備
□過剰与薬準備　□過少与薬準備　□与薬時間・日付間違い　□重複与薬 □禁忌薬剤の投与　□投与速度速すぎ　□投与速度遅すぎ　□患者間違い □薬剤間違い　□単位間違い　□投与方法間違い　□無投薬 □混合間違い　□その他の与薬準備に関する内容（　　）
与薬
□過剰投与　□過少投与　□投与時間・日付間違い　□重複投与 □禁忌薬剤の投与　□投与速度速すぎ　□投与速度遅すぎ　□患者間違い □薬剤間違い　□単位間違い　□投与方法間違い　□無投薬 □その他の与薬に関する内容（　　）

報告項目（(　) 内は入力方法)
２３．関連医薬品
該当する関連医薬品数（１５個まで選択入力可)
（テキスト入力) 販売名　　（　　） ※販売名に剤形及び有効成分の含量が付されていないものについては、販売名に続き剤形、規格単位を記載する 製造販売業者（　　）

※報告項目【２４.】に続く

【１０．概要で「輸血」を選択した場合の項目】

※２０．種類、２３．関連薬品、医療機器、医療材料・諸物品等の報告項目はない

報告項目（(　) 内は入力方法)
２１．発生場面（選択肢入力）
処方
□手書きによる処方箋の作成　□オーダリングによる処方箋の作成 □口頭による処方箋の作成　□手書きによる処方の変更 □オーダリングによる処方の変更　□口頭による処方の変更 □その他の処方に関する場面（　　）
輸血検査
□準備　□実施　□その他の輸血検査に関する場面（　　）
放射線照射
□準備　□実施　□その他の放射線照射に関する場面（　　）
輸血準備
□製剤の交付　□その他の輸血準備に関する場面（)
輸血実施
□実施　□その他の輸血実施に関する場面（　　）

２２.事例の内容（選択肢入力）
指示出し
□指示出し忘れ　□指示遅延　□指示量間違い　□重複指示 □禁忌薬剤の指示　□対象患者指示間違い　□指示薬剤間違い　□指示単位間違い □投与方法指示間違い　□その他の指示出しに関する内容（　　）
輸血検査
□未実施　□検体取り間違え　□判定間違い　□結果記入・入力間違い □その他の輸血検査に関する内容（　　）
放射線照射
□未実施　□過剰照射　□過少照射　□患者間違い　□製剤間違い □その他の放射線照射に関する内容（　　）
輸血管理
□薬袋・ボトルの記載間違い　□異物混入　□細菌汚染　□期限切れ製剤 □その他の輸血管理に関する内容（　　）
輸血準備
□過剰与薬準備　□過少与薬準備　□与薬時間・日付間違い　□重複与薬 □禁忌薬剤の与薬　□投与速度速すぎ　□投与速度遅すぎ　□患者間違い

□薬剤間違い	□単位間違い	□投与方法間違い	□無投薬
□その他の輸血準備に関する内容（　　）			
輸血実施			
□過剰投与	□過少投与	□投与時間・日付間違い	□重複投与
□禁忌薬剤の投与	□投与速度速すぎ	□投与速度遅すぎ	□患者間違い
□薬剤間違い	□単位間違い	□投与方法間違い	□無投薬
□その他の輸血実施に関する内容（　　）			

※報告項目【２４.】に続く

【１０．概要で「治療・処置」を選択した場合の項目】

報告項目（（　）内は入力方法）
２０．治療・処置の種類（選択肢入力）
手術
□開頭　□開胸　□開心　□開腹　□四肢　□鏡視下手術　□その他の手術（　　）
麻酔
□全身麻酔（吸入麻酔＋静脈麻酔）　□局所麻酔　□吸入麻酔　□静脈麻酔 □脊椎・硬膜外麻酔　□その他の麻酔（　　）
分娩・人工妊娠中絶
□経腟分娩　□帝王切開　□人工妊娠中絶 □その他の分娩・人工妊娠中絶等（　　）
その他の治療
□血液浄化療法（血液透析含む）　□ＩＶＲ（血管カテーテル治療等） □放射線治療　□ペインクリニック　□リハビリテーション □観血的歯科治療　□非観血的歯科治療　□内視鏡的治療 □その他の治療（　　）
一般的処置（チューブ類の挿入）
□中心静脈ライン　□末梢静脈ライン　□動脈ライン　□血液浄化用カテーテル □栄養チューブ（ＮＧ・ＥＤ）　□尿道カテーテル　□ドレーンに関する処置 □創傷処置　□その他の一般処置（　　）
救急処置
□気管挿管　□気管切開　□心臓マッサージ　□酸素療法　□血管確保 □その他の救急処置（　　）

２１．発生場面（選択肢入力）
治療・処置の指示
□手書きによる指示の作成　□オーダリングによる指示の作成　□口頭による指示 □手書きによる指示の変更　□オーダリングによる指示の変更 □口頭による指示の変更　□その他の指示に関する場面（　　）
治療・処置の管理
□管理　□その他の管理に関する場面（　　）
治療・処置の準備
□準備　□その他の準備に関する場面（　　）
治療・処置の実施
□準備　□その他の治療・処置に関する場面（　　）

報告項目（(　) 内は入力方法）
２２．事例の内容（選択肢入力）
治療・処置の指示
□指示出し忘れ　□指示遅延　□対象患者指示間違い　□治療・処置指示間違い □日程間違い　□時間間違い　□その他の治療・処置の指示に関する内容（　　）
治療・処置の管理
□治療・処置の管理　□その他の治療・処置の管理に関する内容（　　）
治療・処置の準備
□医療材料の取り違え　□患者体位の誤り　□消毒・清潔操作の誤り □その他の治療・処置の準備に関する内容（　　）
治療・処置の実施
□患者間違い　□部位取違え　□方法（手法）の誤り　□未実施・忘れ □中止・遅延　□日程・時間の誤り　□順番の誤り　□不必要行為の実施 □誤嚥　□誤飲　□異物の体内残存 □診察・治療・処置等その他の取違え　□その他の治療・処置の実施に関する内容（　）

２３．医療材料・諸物品等
該当する医療材料・諸物品等（１５個まで選択入力可）
（テキスト入力） 販売名　（　　） 製造販売業者　（　　） 購入年月日　（　　）

※報告項目【２４.】に続く

【１０．概要で「医療機器等」を選択した場合の項目】

報告項目（（　）内は入力方法）		
２０．医療機器等の種類（選択肢入力）		
□人工呼吸器	□酸素療法機器	□麻酔器
□人工心肺	□除細動器	□ＩＡＢＰ
□ペースメーカー	□輸液・輸注ポンプ	□血液浄化用機器
□保育器	□内視鏡	□低圧持続吸引器
□心電図・血圧モニター	□パルスオキシメーター	□高気圧酸素療法装置
□歯科用回転研削器具	□歯科用根管治療用器具	□歯科補綴物・充填物
□その他の医療機器等（　　）		

２１．発生場面（選択肢入力）		
医療機器等・医療材料の使用・管理の指示		
□手書きによる指示の作成	□オーダリングによる指示の作成	□口頭による指示
□手書きによる指示の変更	□オーダリングによる指示の変更	
□口頭による指示の変更	□その他の指示に関する場面（　　）	
医療機器等・医療材料の管理		
□管理		
医療機器等・医療材料の準備		
□準備		
医療機器等・医療材料の使用		
□使用中		

２２．事例の内容（選択肢入力）			
医療機器等・医療材料の使用・管理の指示			
□指示出し忘れ	□指示遅延	□対象患者指示間違い	□使用方法指示間違い
□その他の医療機器等・医療材料の使用に関する内容（　　）			
医療機器等・医療材料の管理			
□保守・点検不良	□保守・点検忘れ	□使用中の点検・管理ミス	□破損
□その他の医療機器等・医療材料の管理に関する内容（　　）			
医療機器等・医療材料の準備			
□組み立て	□設定条件間違い	□設定忘れ	□電源入れ忘れ
□警報設定忘れ	□警報設定範囲間違い	□便宜上の警報解除後の再設定忘れ	
□消毒・清潔操作の誤り		□使用前の点検・管理ミス	
□破損	□その他の医療機器等・医療材料の準備に関する内容（　　）		

医療機器等・医療材料の使用
□医療機器等・医療材料の不適切使用　□誤作動　□故障　□破損 □その他の医療機器等・医療材料の使用に関する内容（　　）

報告項目（(　) 内は入力方法)	
２３．医療機器等	
該当する医療機器等（１５個まで選択入力可)	
(テキスト入力)	
販売名	(　　)
製造販売業者	(　　)
製造年月	(　　)
購入年月	(　　)
直近の保守・点検年月	(　　)
医療材料・諸物品等	
該当する医療材料・諸物品等（１５個まで選択入力可)	
(テキスト入力)	
販売名	(　　)
製造販売業者	(　　)
購入年月	(　　)

※報告項目【２４.】に続く

【１０．概要「ドレーン・チューブ」を選択した場合の項目】

報告項目（（　）内は入力方法）
２０．ドレーン・チューブの種類（選択肢入力）
□中心静脈ライン　□末梢静脈ライン□動脈ライン　□気管チューブ □気管カニューレ　□栄養チューブ（ＮＧ・ＥＤ）　□尿道カテーテル □胸腔ドレーン　□腹腔ドレーン　□脳室・脳槽ドレーン　□皮下持続吸引ドレーン □硬膜外カテーテル□血液浄化用カテーテル・回路　□三方活栓 □その他のドレーン・チューブ類（　　）

２１．発生場面（選択肢入力）
ドレーン・チューブ類の使用・管理の指示
□手書きによる指示の作成　□オーダリングによる指示の作成　□口頭による指示 □手書きによる指示の変更　□オーダリングによる指示の変更 □口頭による指示の変更　□その他の指示に関する場面（　　）
ドレーン・チューブ類の管理
□管理
ドレーン・チューブ類の準備
□準備
ドレーン・チューブ類の使用
□使用中

２２．事例の内容（選択肢入力）
ドレーン・チューブ類の使用・管理の指示
□指示出し忘れ　□指示遅延　□対象患者指示間違い　□使用方法指示間違い □その他のドレーン・チューブ類の使用・管理の指示に関する内容（　　）
ドレーン・チューブ類の管理
□点検忘れ　□点検不良　□使用中の点検・管理ミス　□破損 □その他のドレーン・チューブ類の管理に関する内容（　　）
ドレーン・チューブ類の準備
□組み立て　□設定条件間違い　□設定忘れ　□消毒・清潔操作の誤り □使用前の点検・管理ミス □その他のドレーン・チューブ類の準備に関する内容（　　）
ドレーン・チューブ類の使用
□点滴漏れ　□自己抜去　□自然抜去　□接続はずれ　□未接続 □閉塞　□切断・破損　□接続間違い　□三方活栓操作間違い

□ルートクランプエラー　□空気混入　□誤作動　□故障 □ドレーン・チューブ類の不適切使用 □その他のドレーン・チューブ類の使用に関する内容（　　）

報告項目（(　) 内は入力方法)
２３．医療材料・諸物品等
該当する医療材料・諸物品等（１５個まで選択入力可)
(テキスト入力) 販売名　（　　） 製造販売業者　（　　） 購入年月日　（　　）

※報告項目【２４．】に続く

【１０．概要で「検査」を選択した場合の項目】

報告項目（（　）内は入力方法）
２０．検査の種類（選択肢入力）
検体採取
□採血　□採尿　□採便　□採痰　□穿刺液　□その他の検体採取（　　）
生理検査
□超音波検査　□心電図検査　□トレッドミル検査　□ホルター心電図 □脳波検査　□筋電図検査　□肺機能検査 □その他の生理検査（　　）
画像検査
□一般撮影　□ポータブル撮影　□ＣＴ　□ＭＲＩ □血管カテーテル撮影　□上部消化管撮影　□下部消化管撮影 □その他の画像検査（　　）
内視鏡検査
□上部消化管　□下部消化管　□気管支鏡　□その他の内視鏡検査（　　）
機能検査
□耳鼻科検査　□眼科検査　□歯科検査　□検体検査 □血糖測定（病棟で実施したもの）　□病理検査　□核医学検査 □その他の機能検査（　　）

２１．発生場面（選択肢入力）
検査の指示
□手書きによる指示の作成　□オーダリングによる指示の作成　□口頭による指示 □手書きによる指示の変更　□オーダリングによる指示の変更 □口頭による指示の変更　□その他の指示に関する場面（　　）
検査の管理
□管理
検査の準備
□準備
検査の実施
□実施中

２２．事例の内容（選択肢入力）
検査の指示
□指示出し忘れ　□指示遅延　□対象患者指示間違い　□指示検査の間違い

□その他の検査の指示に関する内容（　　）
検査の管理
□分析機器・器具管理　□試薬管理　□データ紛失　□計算・入力・暗記 □その他の検査の管理に関する内容（　　）
検査の準備
□患者取違え　□検体取違え　□検体紛失　□検査機器・器具の準備 □検体破損　□その他の検査の準備に関する内容（　　）
検査の実施
□患者取違え　□検体取違え　□試薬の間違い □検体紛失　□検査の手技・判定技術の間違い　□検体採取時のミス □検体破損　□検体のコンタミネーション　□データ取違え □結果報告　□その他の検査の実施に関する内容（　　）

報告項目（(　) 内は入力方法)
２３．医療機器等
該当する医療機器等（１５個まで選択入力可)
(テキスト入力) 販売名　(　　) 製造販売業者　(　　) 製造年月　(　　) 購入年月　(　　) 直近の保守・点検年月　(　　)
医療材料・諸物品等
該当する医療材料・諸物品等（１５個まで選択入力可)
(テキスト入力) 販売名　(　　) 製造販売業者　(　　) 購入年月日　(　　)

※報告項目【２４.】に続く

【１０．概要「療養上の世話」を選択した場合の項目】

報告項目（（　）内は入力方法）
２０．療養上の世話の種類（選択肢入力）
療養上の世話（介助者がいるもの）
□気管内・口腔内吸引　□体位交換　□清拭　□更衣介助　□入浴介助 □排泄介助　□移動介助　□搬送・移送　□罨法　□患者観察 □患者周辺物品管理　□体温管理　□配膳　□その他の療養上の世話（　　）
給食・栄養（介助者がいるもの）
□経口摂取　□経管栄養　□食事介助
療養上の場面（患者が単独で行ったもの）
□散歩中　□移動中　□外出・外泊中　□食事中　□入浴中 □着替え中　□排泄中　□就寝中　□その他の療養上の場面（　　）

２１．発生場面（選択肢入力）
療養上の世話の計画又は指示
□手書きによる計画又は指示の作成　□オーダリングによる計画又は指示の作成 □口頭による計画又は指示　□手書きによる計画又は指示の変更 □オーダリングによる計画又は指示の変更　□口頭による計画又は指示の変更 □その他の計画又は指示に関する場面（　　）
療養上の世話の管理・準備・実施
□管理　□準備　□実施中

２２．事例の内容（選択肢入力）
療養上の世話の計画又は指示
□計画忘れ又は指示出し忘れ　□計画又は指示の遅延 □計画又は指示の対象患者間違い　□計画又は指示内容間違い □その他の療養上の世話の計画又は指示に関する内容（　　）
療養上の世話の管理・準備・実施
□拘束・抑制　□給食の内容間違い　□安静指示　□禁食指示 □外出・外泊許可　□異物混入　□転倒　□転落 □衝突　□誤嚥　□誤飲　□誤配膳 □遅延　□実施忘れ　□搬送先間違い　□患者間違い □延食忘れ　□中止の忘れ　□自己管理薬飲み忘れ・注射忘れ □自己管理薬注入忘れ　□自己管理薬取違え摂取　□不必要行為の実施 □その他の療養上の世話の管理・準備・実施に関する内容（　　）

報告項目（(　) 内は入力方法)
２３．医療材料・諸物品等
該当する医療材料・諸物品等（１５個まで選択入力可)
(テキスト入力) 販売名　　(　　) 製造販売業者　(　　) 購入年月日　　(　　)

※報告項目【２４.】に続く

※【２４.】【２８.】は「医療事故情報」の報告項目のため、欠番

報告項目（(　) 内は入力方法）
２５．事例の内容（テキスト入力） （　　）
２６．発生要因（選択肢入力） **【複数回答可】** **《当事者の行動に関わる要因》** □確認を怠った　□観察を怠った　□報告が遅れた（怠った） □記録などに不備があった　□連携ができていなかった □患者への説明が不十分であった（怠った）　□判断を誤った **《背景・システム・環境要因》** **ヒューマンファクター** □知識が不足していた　□技術・手技が未熟だった □勤務状況が繁忙だった　□通常とは異なる身体的条件下にあった □通常とは異なる心理的条件下にあった　□その他（　　） **環境・設備機器** □コンピュータシステム　□医薬品　□医療機器　□施設・設備 □諸物品　□患者側　□その他（　　） **その他** □教育・訓練　□仕組み　□ルールの不備　□その他（　　）
２７．事例の背景要因の概要（テキスト入力） （　　）
２９．改善策（テキスト入力） （　　）